

住民税均等割のみ課税世帯にも7万円を支給

日田市は2月5日、物価高支援金を3月に支給することを決めた。支援金をもらえる対象は、左のとおりです。総額2億円の支援金は、国の臨時交付金を使います。

物価高支援金 18歳以下の児童ひとりに5万円

3月に支援金もらえる

- ① 18歳以下の児童ひとりに5万円
※ 1,450人がもらえる見込み
(ただし住民税非課税世帯や住民税均等割のみ課税世帯)
- ② 住民税均等割のみ課税世帯に7万円
※ 1,710世帯がもらえる見込み

日田市は、食料品などの物価高で生活が大変になっている低所得世帯が支援金を3月にもらえるようにするため、臨時議会を開かず、市長が専決しました。3月に物価高支援金をもらえる世帯に、手続きの案内が2月末に市から届きます。支援金の振込口座を確認する書類を市に出せば、3月10日から支援金の指定口座への振り込みが始まります。

市の担当課は「今月中に6千3百世帯に振り込まれる見込み」と話しています。1月末に7万円の支援金が振り込まれたSさん(ひとり暮らしの高齢者)は「国民年金だけでは、灯油が高くて暖房がまんしていた。灯油が買えて助かった」と話します。日本共産党日田市議団は、いつでも生活相談を受けています。



大分県後期高齢者医療広域連合は賛成多数で決める

大分県後期高齢者医療広域連合は8日、75歳以上の医療保険料をひとり当たり約1万5千円値上げすることを決めました。日隈市議は、日田市の代表として値上げに反対しました。

国は、現役世代の保険料負担を抑えるためとして、75歳以上の医療保険料を引き上げます。大分県は、令和5年度末の剰余金

約4億4千万円と県財政安定化基金13億円を使って保険料値上げを抑えます。これでも高齢者の保険料は、年間1万5千円の値上げになります(下の表)。

所得割額が一人当たり2657円軽減される高齢者は、全体の13%(約2万8千人)です。大分県は財政安定化基金を2億円もため込んでいるのに、半分の13億円しか使いません。日隈市議は「物価高で年金は目減りし、後期高齢者医療費の窓口負担も倍増している。こんな時こそ県は、財政安定化基金の全額を使うべき」と主張しました。

75歳以上医療保険 保険料1万5千円の値上げ



	令和4・5年度	令和6・7年度	増減
均等割額	53,600円	59,200円	5,600円
所得割額 (令和6年度軽減)	10.32%	11.55% (10.62%)	1.23% (0.30%)
ひとり当たり 年間保険料	63,496円	78,153円	14,657円